

福岡県と県境防疫会議を開催

福岡県北部家保と山口県西部家保による県境防疫会議を開催

分類：新着ニュース, 農業

登録日：平成 28 年 9 月 8 日 | 下関農林事務所畜産部(西部家保)

9月2日山口市において、山口・福岡両県の家畜防疫担当者が参集し、県境防疫会議を開催しました。出席者は、県境にある山口県西部家保と福岡県北部家保および両県の県庁畜産振興課職員その他、農業共済組合の職員を含めた 15 名です。

本会議は、隣接県が相互に家畜防疫情報を共有し、特に高病原性鳥インフルエンザ等の家畜伝染病発生を想定して、共通認識のもと防疫体制の強化を図ることを目的に平成 20 年度から開催されています。今回は、家畜衛生に関する現状と課題、鳥インフルエンザ等特定家畜伝染病の発生事例や防疫演習の開催状況等について情報交換を行いました。

西部家保では、今後も両県の防疫担当者間の交流を深め、情報交換を行うことでより円滑かつ効果的な防疫対応の実施を図っていきます。



西部家保所長の挨拶

問合せ先

メール：a171073@pref.yamaguchi.lg.jp 電話：083-766-1018